

# 未来洞察を活用した 新規事業・研究開発テーマの創造

## ●プログラム●

### 【開催主旨】

未来予測の方法論には様々なものがあり、確立した方法論もあります。我々がお薦めし、実践している「未来洞察（フォーサイト）」は、未確立な方法論ではありますが、「非連続な未来からインスピレーションを得て、中長期の経営・事業戦略策定や新規事業創造に活用する」ことに適したアプローチです。未来を知ろうとする、自らが未来を創ろうとする過程での「新たな気づき」があってこそ、未来の非連続性や不確実性を自社の戦略策定や事業・研究テーマ創造の源泉として活用可能になるという考え方です。

あらゆる方法論がそうであるように、未来洞察をツールとしてうまく活用するには、ちょっとしたコツと日々の実践が必要です。そこで、本セミナーでは、参加者同士の対話を交えながら、事例や実践知を紹介していきます。

◆日時：2017年6月19日（月） 13:30～17:00

◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講師：(株)日本総合研究所 未来デザイン・ラボ シニアマネージャー 八幡 晃久氏  
シニアマネージャー 石野 幹生氏  
一橋大学大学院 商学研究科 教授 鷲田 祐一氏

### 【略歴】八幡 晃久氏

大阪大学大学院工学研究課修士課程修了。専門は、インド・アセアン市場の市場調査・戦略立案、CSR / CSV 関連コンサルティング、物流改革・BPR 戦略の策定・実行支援、未来洞察を活用した中長期経営計画策定・新規事業立案等。『新たな事業機会を見つける未来洞察の教科書』（KADOKAWA）監修。

### 石野 幹生氏

(株)博報堂にて、幅広い業種のマーケティング戦略、ブランド戦略立案業務に従事後、研究テーマ開発、新規事業開発などのコンサルティングに携わる。2015年より現職。専門は未来洞察、デザインリサーチに基づくイノベーション創発支援。『(略)未来洞察の教科書』執筆。

### 鷲田 祐一氏

一橋大学大学院商学研究科教授。専門は、技術普及論、ユーザーイノベーション論、グローバルマーケティング。東京大学大学院総合文化研究科修了（学術博士）。主な著書に「イノベーションの誤解」（日本経済新聞出版社）、「デザインがイノベーションを伝える - デザインの力を活かす新しい経営戦略の模索 -」（有斐閣）等。

## ●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

\*当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からもお申込みいただけます

### ●受講料●1名(税込み、資料、書籍代含む)

|     |         |              |
|-----|---------|--------------|
| 正会員 | 36,720円 | 本体価格 34,000円 |
| 一般  | 39,960円 | 本体価格 37,000円 |

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込み下さい。後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。
- 申込書を FAX にてご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。
- 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

一般社団法人企業研究会

担当：村野 E-mail murano@bri.or.jp  
〒102-0083  
東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町M-SQUARE 2F  
TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951

|             |  |                           |  |
|-------------|--|---------------------------|--|
| 171325-1001 |  | ※ 2017.6.19 未来洞察を活用した新規事業 |  |
| 会社名         |  |                           |  |
| 住所          |  | 〒                         |  |
| TEL         |  | FAX                       |  |
| 部課          |  | フリガナ                      |  |
| 役職          |  | お名前                       |  |
| e-mail      |  |                           |  |
| 部課          |  | フリガナ                      |  |
| 役職          |  | お名前                       |  |
| e-mail      |  |                           |  |

\*申込書にご記入頂きました個人情報は、本研究会に関する確認・連絡及び弊会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

# 未来洞察を活用した 新規事業・研究開発テーマの創造

## 1. 概説：未来洞察とは何か

- (1) 未来予測の方法論
- (2) なぜ、未来洞察なのか？
- (3) 未来予測と未来洞察の違い

## 2. 手法解説：「不確実な未来」をどのように洞察するか

- (1) 未来洞察のフレームワーク
- (2) 未来の 이슈を整理する
- (3) 不確実な未来の予兆を発見する（スキャンング）
- (4) 社会変化仮説を作る
- (5) アイデアを強制発想する
- (6) 未来洞察のコツ

## 3. 取材事例：日本の大手企業は「不確実な未来」とどう向き合っているか <企業例>

- (1) 賃貸住宅 D 社
- (2) 精密機器 R 社
- (3) 自動車 T 社

## 4. 実践事例：未来洞察を活用したテーマ創造

### <分野例>

- (1) ヘルスケア
- (2) 住まい
- (3) 移動

## 5. まとめ

※副教材として講師著「未来洞察の教科書」および「未来洞察のための思考法: シナリオによる問題解決」を配布

※当日の講義内容は、多少変更となる可能性があります。